

全国知事会に際する玄葉外務大臣主催レセプションの開催

平成23年11月
地方連携推進室

玄葉光一郎外務大臣は11月21日（月）、政府主催全国都道府県知事会議の機会をとらえ、外務省飯倉公館において、全国の知事、在京外交団他約200名とともに自治体レベルの国際交流促進のためのレセプションを行いました。



挨拶を行う玄葉外務大臣

冒頭、主催者である玄葉大臣から在京外交団に対して、風評に基づく輸入規制、渡航規制の緩和・解除を呼びかける挨拶に続き、震災による被害を大きく受けた東北3県の知事（達増岩手県知事、村井宮城県知事、佐藤福島県知事）から、東日本大震災に際し、国際社会から示された支援に対し謝意が表明されるとともに被災地の現状と復興に向けた取り組みや観光地としての魅力が紹介されました。続いて出席の知事を代表し山田全国知事会会長（京都府知事）、最後に駐日外交団を代表してカデロ駐日サンマリノ共和国大使よりそれぞれ挨拶をいただきました。

今回のレセプションでは復興支援となるよう、東北の産物を食材にした料理を供し、また、地方の地場産業支援、日本ブランドの発信の機会として日本酒ブースを設けました。加えて、全国34の都府県のご協力をいただき自治体紹介コーナーを設置しました。酒類・果物・伝統工芸品など各地の特産品、観光案内が色とりどりに展示され、参加した外交団の多くが一つ一つのブースを回り、自治体の方々と食などを通じた積極的なやり取りが行われ、大変好評でした。



盛況だった自治体紹介コーナー